·I|III|II CISCO

Cisco Vision Director **でのバックアップの** 管理

このモジュールでは、次のトピックについて取り上げます。

- バックアップに関する情報(287 ページ)
- バックアップの管理法(288 ページ)
- バックアップからの復元法(293 ページ)

バックアップに関する情報

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- バックアップ環境(287ページ)
- バックアップするべきシステム データ(287 ページ)
- バックアップを実行するタイミング(288ページ)

バックアップ環境

バックアップは単一の Cisco Vision Director サーバーのみが存在するネットワーク環境でも実行できますが、このマニュア ルに記載されている推奨環境は仮想環境です。冗長環境では、プライマリ サーバーで Cisco Vision Director を実行し、同じサ ブネットに接続されたセカンダリ サーバーにプライマリ サーバーからのバックアップ データが保存されます。

バックアップ処理はスケジュール設定をする以外に、手動でも実行できます。バックアップが完了すると、Content Management System(CMS)は自動的に再起動します。

バックアップするべきシステム データ

バックアップを必要とする Cisco Vision Director のエリアは複数存在します。バックアップ処理では、Cisco Vision Director サーバーの次のエリアがバックアップされます。

- Cisco Vision Director Content Management System(CMS)
- Cisco Vision Director データベース
- Cisco Vision Director システム コンフィギュレーション ファイル
- Content Integration データ
- ダイナミック メニュー ボードのデータ

注意∶var/sv/pofp/raw ディレクトリにある再生証明の raw データはバックアップ*されません*。

/var/sv/pofp/data ディレクトリ中の再生証明レポート データ

Cisco Systems, Inc. www.cisco.com/jp

バックアップを実行するタイミング

[Asset Library] のコンテンツ、[Devices]、[Script Management]、[Event Management]、[Designer] または [System Configuration] などのインターフェイスの項目を変更するたびに、手動バックアップを実行します。

注意:

- 1. 手動バックアップを開始する前に実行中のスクリプトを停止します。
- 2. バックアップ中にゲーム/イベント スクリプトは開始しないでください。
- 3. バックアップが完了するまで、Cisco Vision Dynamic Signage Director を操作しないでください。

バックアップの管理法

このセクションは、次のトピックで構成されています。

- バックアップ実行の前提条件(288 ページ)
- バックアップ管理のベスト プラクティス(288 ページ)
- 定期バックアップのスケジュール設定(289 ページ)
- 手動操作によるバックアップの即時実行(289 ページ)
- バックアップ完了の検証(290ページ)
- 保持するバックアップファイル数の変更(293ページ)

バックアップ実行の前提条件

注:最初のサーバー設定の一環として、プライマリ サーバーとセカンダリ サーバーをバックアップ操作用に設定します。 バックアップ用サーバーの設定に関する詳細については、『Cisco Vision Administration Guide: Dynamic Signage Director』 を参照してください。

バックアップを実行する前に、次の条件を満たします。

- バックアップ アカウントがセカンダリ サーバーで有効なっている。
- プライマリ サーバーが自動バックアップと復元用に設定されている。

バックアップ管理のベスト プラクティス

- ゲーム スクリプトの開始前には、手動システム バックアップを実行しておきます。
- すべてのコンポーネントをバックアップします(強く推奨)。
- 手動バックアップの開始前には、[Device Management] でアクティブなゲームやイベントスクリプトを停止させておきます。
- バックアップタスクは、イベントスクリプトの実行中でも実行できます。この変更に伴い、バックアップ処理中にはデー タベースの最適化と修復は行われなくなったため、必要に応じてデータベースメンテナンスを手動実行するための新規 オプションが TUI に追加されています。
- バックアップが完了するまで、Cisco Vision Director の [System Configuration] や [Device Management] を操作しない でください。

定期バックアップのスケジュール設定

ユーザー ロール:管理者(Administrator)

バックアップ処理をサポートするようにサーバーを設定した後は、Cisco Vision Director ソフトウェアの [System Configuration] > > [Dashboard] を使用して、バックアップをスケジュール設定します。

注:バックアップのスケジュールは、Cisco Vision Director サーバーがスクリプトをアクティブに実行していない時間帯や、 その他のイベント処理を実行していない時間帯とすることをお勧めします。

バックアップの定期実行スケジュールを設定する手順は次のとおりです。

- 1. [Configuration] > [System Configuration] > [Configuration] > [Scheduled Tasks] をクリックします(図 1(289 ページ)),
- 2. [+(Add)]をクリックします。[Schedule Task Add] ダイアログボックスが表示されます。
- 3. [Task Type] フィールドをクリックし、「BackupTask」と入力します。
- 注:タスクの名前は、小文字と大文字の違いも含めて、表示どおりに入力してください。

図 1 定期バックアップ タスクのスケジュール設定

diade Cisco Vision Dynamic Signagn I	Srector	6	w = 0 H	al 5- 0	Allerer + = 1	
System Configuration						
• In Dynamic Suprage Constant Redman and	[+	1.6			
 Provins Strep. Seconds (8) 		Test (0	Tank Type	Task Time	Servers	
 In the Index mon Parado 12. 		1	Tapate the Despi	04.45	(partitud	
 In Management Discrimination 		1	Partellecture	periods with seconds	1000	
+ In factorization Sectorings (1)			ortering by a	00.00	1000	
+ He happed an en (11			orbitanelse	16.30	1000	
+ m ()_1		12.	Winartim Charge Tax	generality of concerning	(1000)	
• 🖬 Philip Useral Saltings (20)		10.1	14 Million faith	person fill second.	100%	
B Advector Regimy Terrapa		14	orbitamentical	100.001	in the second se	
23 Artesser beer		16	IPAGE/Committee	- 87.90	tably .	
	1	76	Organillephotacorthis	05.32	config ;	
		167	Preculatoria	10.00		
		18	Lagendration (parently 5 percents	1000	
		76	united with the second	10.00		
- Philippine - Children - Childre		h.	or and the second secon	0100		
		11	Linguage and Company of Linguage and Company Participants	parents di passeda	(
		21	Executive Construction	C HARDEN I	10070	

- 4. [Task Time] フィールドをクリックし、バックアップを開始させる時刻を指定します(24時間形式)。
- 5. [Severs] フィールドをクリックし、config をチェックします。
- 6. [保存(Save)]をクリックします。

手動操作によるバックアップの即時実行

ユーザー ロール:管理者(Administrator)

バックアップをすぐに開始する場合は、バックアップ プロセスを手動で実行します。

バックアップを手動で開始してすぐに実行する手順は次のとおりです。

- 1. 有効なユーザー ID とパスワードを使用して、Director TUI にログインします。
- 2. [Cisco Vision Server Administration] を選択します。
- 3. [Backup system data] を選択します(図 2(290 ページ))。

図 2 バックアップタスクの手動実行

Please choos	e one of the following menu options:
	blentay formare Version
161	Destructo Service
	Bastart Desirie Simons Diractor additions
	Bintdram Domanic Simon Disartie addrives
	Tation automatic harbon and particles
	Entire Classifician initial configuration
1.1	Re-Roy CL900415100 Instant Sunsignersion
-1P	Recention Policy
-113	DATADASE MAINTENANCE
-1.3	Clear Switch Bost Meys
	Failower
363	Setup Server Frofile
	Reboot
	Power Off
	Clean up content import history table
(a)	Backup system data
- p)	Restore all system data from system backup
	Clean up generic content table
	Restore TV Off Some Assignments
E or < or al	Seturn to prior menu

4.「Y」と入力します。

バックアップが即時に開始されます。完了すると、CMS は自動的に再起動します。

重要:「success」メッセージの表示は、バックアップタスクが開始されたことを意味します。これはバックアップの完了を意味するものではありません。

バックアップ完了の検証

ユーザー ロール:管理者(Administrator)

バックアップが完了していたかを確認するには、バックアップファイルが存在しており、ログファイル中にエラーが記録されていないことを確認します。

バックアップ ファイルが存在することの確認

重要:バックアップ ファイルが存在することの確認で分かるのは、バックアップ ファイルが試行されたということだけであ り、エラーの有無については判断できません。

バックアップ ファイルが存在することを確認する手順は次のとおりです。

- 1. 有効なユーザー ID とパスワードを使用して、Director TUI にログインします。
- 2. [Cisco Vision Server Administration] を選択します。
- 3. [Restore all system data from system backup]を選択します(図 3(291 ページ))。
- 4. 日付と時刻付きでバックアップ ファイルが表示されることを確認します。

図 3 Restore all System Data from System Backup



ログ ファイル中でのバックアップ エラーの特定

重要: メッセージ「Starting backup」と「Backup completed」は常にログに記録されるもので、バックアップの成否とは無関係 であることに注意してください。

ログ ファイルには次のようにしてアクセスできます。

- テキストユーティリティ インターフェイス(Text Utility Interface: TUI)。
- システム ステート レポート(System State Report)[More] > [System State Report] に移動します。
- grep -i backup sv_dev_debug.log を実行します(ルートへのアクセスが必要)。図 4(292 ページ)に、エラーが発生せず 正常に行われたバックアップでのログ出力の例を示します。

ログ ファイル中のバックアップ エラーを探す手順は次のとおりです。

- 1. /opt/sv/servers/config/logs/sv_dev_debug.log ファイルを開きます。
- 2. sv_dev_debug.log ファイル中で、文字列「com.cisco.sv.backup」を含むメッセージを特定します。

これらはバックアップ処理のメッセージです。

- 3. 「Starting backup」メッセージを検索します。
- 4. 「Starting backup」メッセージの後方(かつ「Backup completed」メッセージの手前)にある「com.cisco.sv.backup」メッ セージで、文字列中に「ERROR」を含むものを特定します。

こうしたエラーが存在する場合、バックアップは正常に完了していませんでした。

図 4 正常終了したパックアップ ログでの grep による出力例

greg +bachup te_dev_dobug.log 895-91-81 (k. (k. 4).20). Delsektbarrytelseker, Romer B. (Rel) gemyten av eftedet harterfort. Herving herterten. 2015-91-81 (k. 18.4). Zhi Delsektbarrytelseker B. (Rel) gemyten av eftede harterfort. Harterforbeter 2015-91-81 (k. 18.4). Delsektbarrytelseker Parker B. (1990). gemyten av beiten hervettelseger - Kanterforbeter DITS IT OLD ALL IT SHARE AND ALL MARKED me mate line hading model of
 Funct Residuary United Model
 UPTI Control (UPL CONTROL (1925 82 22 94 38 42 427 (Deleast Sarry Scholars "Rocher II. 1997) 🚓 das au berhau berhaubernam - Anth-schernen Jarrenaus in mannel | Pert Backgrungs das tat 2015 - 12 II. (12 11), VIII. Data Merenger. Three Proof.
 2016 II. (12 11), VIII. Data Merenger. Three Proof.
 2015 - 12 II. (12 11), VIII. Data Merenger. Three Proof.
 2015 - 12 II. (12 11), VIII. Data Merenger. Three Proof.
 2015 - 12 II. (12 11), VIII. Data Merenger. Three Proof.
 2015 - 12 III. (12 11), VIII. Data Merenger. Three Proof.
 2015 - 12 III. (12 11), VIII. Data Merenger. Three Proof.
 2015 - 12 III. (12 11), VIII. Data Merenger. Three Proof.
 2015 - 12 III. (12 11), VIII. (12 11), VIIII. (12 11), VIII. (12 11), VIII. (12 11), VIII. (12 11), VIIII. (12 11), VIII. (12 11), VIIII. (12 11), VIIII. (12 11), VIII. (12 11 A construction of the 2015 FL-21 (#12:55,200 Bachgeblanger Prog/Ppd) 2000 concerns to be log dark ground regions for use gg access for years to hear hear and AU 196-1855012164040.000 as Augure (en (som deligiblender bage de 1933 de 24 secto Alexander (bedre Merager: (bene Brog), 1930 hordonistic de sell present Production des Anteres An Institution States All St. 1. B. 1 ter free foodbild With research and an 25th 201201110 (1913) (1900) and an 2015-01-13 14-13 Skolid (hereof (berick) bericker Werker 1). 2000 in sensitere in besteg Kasteg Manager - Kenning kosk (og/sessiter) besteg solver 2015-01-23 14:13 2010/10/fiele/Eberick/hereofer, Werker 1). 2000 i genomen, auf gebone, Prinzenerepter - Kenning kosk (og/sessiter) bestege solverte Net Barley stript Washed 2019-01-2110-2110-2110-2010-204-0-44 (Annuel 1) (2017) completion of bottom Rectand Rectand Rectand Private Completion of the Annuel Not the product of the second seco NEW BL, F. A. WARDAR, MARK, M. W. WARDAR, M. W. WARDAR, M. W. WARDAR, M. WARDAR, WARDAR, M. WARDAR, M. WARDAR, M. WARDAR, M. WARDAR, M. WARDAR, WARDAR 4.1.6.166. dojimi 2.1.6.41.666. dolla ter 2015-11:21 (4.25.04,641 Definad Quartzcholdari "Werker St. Will czystylich an backag Mellag Menager. - Netting copie to incrediery process to 2015-11:21 (4.25.04,641 Definad Quartzcholdari "Werker St. Deliti") czystylich an backag Menager. - Netting copie to incrediery process to 2015-11:21 (4.25.04,641 Definad Quartzcholdari "Werker St. Deliti") czystylich an backag Menager. - Netting copie to incrediery process to 2015-11:21 (4.25.04,641 Definad Quartzcholdari "Werker St. Deliti") czystylich an backag Menager. - Netting copie to incrediery process to 2015-11:21 (4.25.04,641 Definad Quartzcholdari "Werker St. Deliti") czystylich an backag Menager. - Netting copie to incrediery process to 2015-11:21 (4.25.04,641 Definad Quartzcholdari "Werker St. Deliti") czystylich an backag Menager. - Netting copie to incrediery process to 2015-11:21 (4.25.04,641 Definad Quartzcholdari "Werker St. Deliti") czystylich an backag Antonia Menager. - Netting copie to incrediery process to 2015-11:21 (4.25.04,641 Definad Quartzcholdari "Werker St. Deliti") czystylich an backag Antonia Menager. - Netting copie to incrediery process to 2015-11:21 (4.25.04,641 Definad Quartzcholdari "Werker St. Deliti") czystylich and backag 4 M 94/10/08/14 214 175 345 After and heaving/bachter/av-4.8.0.004. Record, 2142540 (880) (44) offer and Jun Paul Antibio Vis-4.3.0.054-001002.001 AD40-00001144 Figure and Association (Article 4.0.1.08) (2020) According (approximation) in Section (2011)

バックアップからの復元法

保持するバックアップ ファイル数の変更

ユーザー ロール:インストーラ(管理者)(Installer (Administrator))

システムで必要とされるディスク ストレージ量を節約するため、デフォルトのバックアップ保持ポリシーでは、バックアッ プ ファイルを 1 つ保持するようにされています。この保持ポリシーで保持させるバックアップ ファイル数は、2、5、7、10 の いずれかに変更できます。

詳細については、『Cisco Vision Administration Guide: Dynamic Signage Director』を参照してください。

バックアップからの復元法

プライマリとセカンダリ サーバーに自動バックアップと復元用の設定がされると、Cisco Vision Director ソフトウェアは自動的にバックアップ ファイルをプライマリとセカンダリ サーバー間でコピーします。

復元プロセスの開始後は、ファイルの MD5 チェックサムが確認されます。何らかの理由でサーバー間のファイル コピーを手 動で実行する場合は、常に .tar と .chksum ファイルを両方ともコピーする必要がありますが、これは復元プロセスでの MD5 シグネチャの確認で両方のファイルが自動的に使用されるためです。

注: セカンダリサーバーにフェールオーバーし復元する必要がある場合は、『Cisco Vision Administration Guide: Dynamic Signage Director』の手順に従います。

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- 手動操作による復元の即時実行(293 ページ)
- 復元後の次の作業(294 ページ)
- 復元後の Cisco Vision Director ソフトウェアの再起動(294 ページ)(必須)

手動操作による復元の即時実行

ユーザー ロール:管理者(Administrator)

復元プロセスは、バックアップと同様にスケジュールと手動での実行ができます。手動復元用の画面が表示されると、バック アップと復元用の両方のディレクトリを合わせたバックアップの一覧が表示されます。これらを使用してプライマリまたは セカンダリ サーバーでの手動復元を開始できます。

注意:イベント スクリプト実行中は、復元を開始できません。また、バックアップ実行時に施設でイベント スクリプトが実行 されていた場合は、それらのスクリプトは復元の終了後に実行されます。

自動復元では、常に復元ディレクトリにある最新のバックアップ ファイルが使用されます。

復元を手動で開始してすぐに実行する手順は次のとおりです。

- 1. 有効なユーザー ID とパスワードを使用して、Director TUI にログインします。
- 2. [Cisco Vision Server Administration] を選択します。
- 3. [Setup automatic backup and restore] を選択します(図 5(294 ページ))。
- 4. 現在非アクティブなサーバーの IP アドレスを入力します。

バックアップからの復元法

図 5 復元タスクの手動実行

	e one of the following menu options:
	Display Software Version
	Upgrade derver
	Restart Dynamic Signage Director Software
- (1)	Shutdown Dynamic Signage Director anftware
(m) (m)	Setup automatic backup and restore
1	Re-Bun CiscoVision initial configuration
	Retention Policy
-h3	Database Maintenance
	Cinar Switch Host Mays
	Failover
	Setup Server Frofile
	Reboot.
	Power Off
	Clean up content import history table
	Backup system data
	Restore all system data from system backup
	Clean up generic content table
	Restore TV Off Scoe Assignments
R OF C OF .1	Betuin to prior menu

復元後の次の作業

復元が完了したら、Cisco Vision Director ソフトウェアを再起動します。詳細については、復元後の Cisco Vision Director ソフトウェアの再起動(294 ページ)を参照してください。

復元後の Cisco Vision Director ソフトウェアの再起動

ユーザー ロール:インストーラ(管理者)(Installer (Administrator))

Cisco Vision Director サーバーで何らかの復元を実行した後は、Cisco Vision Director ソフトウェアを再起動して、サービスの通常オペレーションを再開させる必要があります。

TUIの使用に関する詳細については、『Cisco Vision Administration Guide: Dynamic Signage Director』の「Cisco Vision Dynamic Signage Director Server Text Utility Interface」モジュール(89 ページ)を参照してください。

Cisco Vision Director ソフトウェアを再起動するには、次の手順を実行します。

- 1. 有効なユーザー ID とパスワードを使用して、Director TUI にログインします。
- 2. [Cisco Vision Server Administration] を選択します。
- 3. [Restart Dynamic Signage Director software] を選択します。